

境・桜堤の



ネイチャーポジティブ(自然再興)を考えよう

～2か所の「自然共生サイト」認定を受けて～

武蔵野市では、武蔵野市立境山野(さかいさんや)緑地とサンヴァリエ桜堤が自然共生サイトに認定されました。専門家のレクチャーと両サイトの自然の紹介をもとに、玉川上水や農地などを含め境・桜堤地域の自然をさらに豊かにしていくためのアイデアを出し合ひましょう。



内田圭氏

講師プロフィール

専門は、生物多様性保全学、群集生態学。博士(理学)。境山野緑地の「自然共生サイト」に関するアドバイザー。著書に『植物群集の構造と多様性の解析』(共立出版、共著)など。

境山野緑地：江戸時代から続く雑木林を中心とする緑地で、国木田独歩の作品『武蔵野』にゆかりのある「独歩の森」を含む。



サンヴァリエ桜堤：UR都市機構による桜堤の大規模団地で、敷地内に豊かな緑が広がっている。



2026年

3月8日



13時30分～15時30分

会場：西部コミュニティセンター

- 定員：50名(申し込み不要、直接会場へ)
- 主催：西部コミュニティ協議会、武蔵野の森を育てる会、NPO法人市民まちづくり会議・むさしの
- お問い合わせ：西部コミセン TEL 0422-56-2888
メール seibu-c@bz04.plala.or.jp

プログラム

基調講演「都市における生物多様性を考える」

【講師】内田圭氏(東京都市大学環境学部准教授)

自然共生サイトの報告

- 境山野緑地：「武蔵野の雑木林を未来へつなぐ」
(武蔵野の森を育てる会)
- サンヴァリエ桜堤：「くらしと生き物がつながるUR」
(UR都市機構)

コメント

村井寿夫(NPO法人市民まちづくり会議・むさしの 副代表、NPO法人地域自然情報ネットワーク 理事)

意見交換

Q ネイチャーポジティブ

生物多様性条約に基づく2030年までの世界目標。「自然を回復軌道に乗せるために生物多様性の損失を止め反転させる」意味(日本語で「自然再興」)。

Q 自然共生サイト

ネイチャーポジティブを達成するために、「民間の取組等によって生物多様性の保全が図られている区域」を環境省等が自然共生サイトとして認定する仕組み。

終了後、ご希望の方には境山野緑地(コミセンから徒歩7～8分)をご案内します(16時30分ごろまで)。

